

米づくり情報 第6号

令和4年8月5日

平坦部(佐賀県農業試験研究センター)

本年産水稻の生育状況(8月5日)

移植日	項目 品種	年次	草丈	茎数	葉齢	葉色	概況 (平年と比較して)
			cm	本/m ²	L	SPAD	
6月17日	夢しずく	本年	85.0	317	13.0	40.4	[気象] 7月29日～8月4日まで ◆平均気温…平年より2.1℃高い ◆日照時間…長い(平年比117%) ◆降水量…少ない(平年比8%) [生育] ◆草丈 「夢しずく」でやや高く、「ヒノヒカリ」で平年並み、「さがびより」「ヒヨクモチ」で高い。 ◆茎数 「夢しずく」「ヒノヒカリ」「さがびより」では少ない。「ヒヨクモチ」では多い。 ◆葉齢 「夢しずく」「さがびより」でやや進んでおり、「ヒノヒカリ」「ヒヨクモチ」では平年並みである。 ◆葉色 「夢しずく」ではやや濃く、「ヒノヒカリ」「さがびより」「ヒヨクモチ」では濃い。
		平年	82.8	413	12.5	39.3	
		平年比(差)	103	77	+0.5	+1.1	
	ヒノヒカリ	本年	74.5	404	12.3	40.2	
平年		75.0	513	12.4	37.2		
平年比(差)		99	79	-0.1	+3.0		
6月20日	さがびより	本年	76.7	425	12.7	41.7	
		平年	71.9	523	12.5	38.0	
		平年比(差)	107	81	+0.2	+3.7	
	ヒヨクモチ	本年	74.9	812	12.9	41.4	
平年		65.9	734	13.0	38.6		
平年比(差)		114	111	-0.1	+2.8		
留意点	○ 「ヒノヒカリ」は幼穂形成始期(現在幼穂長:1.2mm)を迎えており、「さがびより」も間もなく幼穂形成始期のため、穂肥の施用は、穂肥診断に基づき行う。 ○ 早生、中生品種は引き続き間断灌水を行い、晩生品種も中干しを終了し、間断灌水に移行。 ○ 発生予察情報及び圃場を確認し、適期防除に努める。						

注1)「夢しずく」、「ヒノヒカリ」は、6月17日移植の稚苗(播種期5/23、播種量 湿粳 180g/箱)

「さがびより」、「ヒヨクモチ」は、6月20日移植の稚苗(播種期5/26 播種量 湿粳 180g/箱)

2)栽植密度: 「夢しずく」は、条間30cm×株間17cm, 19.6株/m²(65株/坪)

「さがびより」は、条間30cm×株間20cm, 16.7株/m²(55株/坪)

「ヒノヒカリ」「ヒヨクモチ」は、条間30cm×株間15cm, 22.2株/m²(73株/坪)

3)栽培管理: 施肥法は県基準に準じ、防除他はセンターの慣行による。

4)概況欄の【草丈】、【茎数】の平年値との比較については、以下のように定義している。

低い(少ない): 94以下、やや低い(やや少ない): 95~98、平年並み: 99~101、

やや高い(やや多い): 102~105、高い(多い): 106以上。

5)平年値は、収量について過去の全試験年次の標準偏差(σ)を算出し、 $\pm 1\sigma$ の外側にある年次を除く年次を対象にした、各項目の単純平均値。

【窒素の時期別施用量(N kg/10a)】

品種	基肥	中追	穂肥 I	穂肥 II	実肥
夢しずく	3.0	0.0	2.0(7/29)	—	—
ヒノヒカリ	4.0	2.0(7/8)	3.0	—	—
さがびより	5.0	0.0	2.0	—	—
ヒヨクモチ	4.0	3.0(7/13)	4.0	1.5	1.5

※括弧内の日付は農試作況圃場における施用日

【農試作況圃場における幼穂形成始期と出穂期】

品 種	幼穂形成期(1mm)		出穂期	
	本年(平年差)	平年	本年(平年差)	平年
夢しずく	7/27(-1)	7/28	未	8/17
ヒノヒカリ	8/5(±0)	8/5	未	8/27
さがびより	未	8/9	未	9/1
ヒヨクモチ	未	8/14	未	9/6

令和4年産 稲作期間気象図

アメダス観測値(佐賀)

農業試験研究センター
作物栽培研究担当

